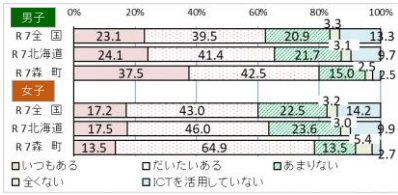


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

【児童質問調査】

・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【児童質問調査】

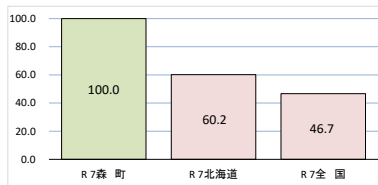
・平日（月～金曜日）、学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



【学校質問調査】

小学校

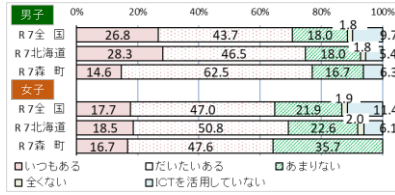
・体育の授業において週に1時間程度ICTを活用している。



中学校

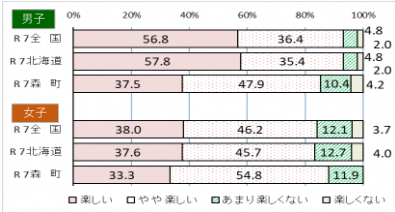
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



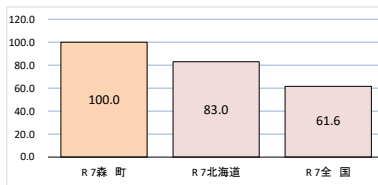
【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか。



中学校

・保健体育授業において週に1時間程度ICTを活用している。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・体育の授業において、動画を活用した振り返りなどのICTの効果的な活用を行ったことにより、児童は自分の成長を視覚的に実感しやすくなり、ICTを使って学習することで「できたり、わかったり」とする肯定的な回答をした児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・平日、学習以外でテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が長時間となっている児童の割合が全国及び全道を上回ったことから、生活習慣の乱れが体力向上を妨げている可能性が考えられる。

中学校

【成果】

・教育行政執行方針において「主体的に学びに向かう生徒の育成」に向け、各学校において「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るため、ICTの効果的な活用を推進し、保健体育の授業において週に1時間以上ICTを活用したことにより、保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで「できたり、わかったり」とすることがあると肯定的に回答した生徒の割合が、男子では全国及び全道を上回り、女子では全国を上回ったと考えられる。

【課題】

・保健体育の授業は楽しいと回答した生徒の割合が全国及び全道を下回っていることから、生徒が保健体育の授業で成功体験を経験することが少ないこと及び運動する楽しさや喜びを感じることに繋がっていない可能性が考えられる。

森町の体力向上に向けた改善方策

・生活習慣の改善と日常的な運動習慣の定着が重要であるが、小学校では、生活習慣の乱れにより体力向上が阻害されている可能性が考えられるため、体育専科教員の専門性を生かした質の高い授業づくりを行うとともに、学校、保護者、地域が協力し、児童の望ましい生活習慣及び運動習慣の改善に向けた取組を推進する。

・中学校では、運動する楽しさや喜びを実感できていない可能性があることから、保健体育の授業において、成功体験を生み出す授業の工夫を行うとともに、1人1台端末及び電子黒板等を効果的に活用し、「できたり、わかったり」することができるような授業づくりを推進する。